

ここが知りたい! 米沢市立病院紹介

26

いりょう きき ☆医療機器編☆

今年4月から9月までに市立病院で導入・更新した主な機器を紹介します。



乳房エックス線撮影装置 (マンモグラフィ)

乳がんの早期診断・治療に対応するため導入しました。乳房を断層撮影することで、より小さな腫瘍や石灰化部分が見つけやすくなりました。被ばく量は、これまでの半分程度で済みます。



下肢静脈瘤治療用レーザー装置

血液が停滞することで脚の静脈が“こぶ状”になる「下肢静脈瘤」を治療する装置です。レーザー治療は、従来の静脈抜去術に比べて体への負担が少なく、新たに導入したものは性能が向上し、より効果的に治療できます。



血管撮影装置

血管に細長いチューブ(カテーテル)を入れ、その中から造影剤を注入して血管の様子を撮影します。これまでより被ばく量が少なく、画質も向上しました。急性心筋梗塞や不整脈などに対して、より精度の高い診断と治療が可能です。

お知らせ

市民公開セミナー(外科・眼科編)

▶日時/10月11日(土)

開場9時30分 開演10時

▶会場/すこやかセンター

▶講師/菅野博隆医師(外科長)

高宮美智子医師(眼科長)

◆問合せ/市立病院総務課経営企画室 ☎22-2450 ◆ホームページ/ <http://yonezawa-city-hospital.jp/>